

# 新日本製鐵(株)八幡製鐵所火災事故(第6報)

平成20年 8月 5日  
16時00分現在  
消防庁特殊災害室

- 1 発生日時 平成20年7月29日(火)6時30分頃
- 2 発見日時 平成20年7月29日(火)6時30分頃
- 3 覚知日時 平成20年7月29日(火)6時44分
- 4 発生場所 新日本製鐵(株)八幡製鐵所  
福岡県北九州市戸畑区大字中原
- 5 事故概要 石炭を炉に運ぶベルトコンベアが何らかの原因により落下し、直下のCOG(コークスガス)配管2系統を破損。2系統からガス(コークス炉から発生する他の施設への供給用ガス及びコークス自体を燻すガス)が漏れ、ベルトコンベア及びベルトコンベア運転操作室を焼損したもの。  
29日(火)8時30分頃にCOG元弁を閉止し、炉内等に残っているCOGを監視体制のもとに燃焼させていたところ、30日(水)1時20分頃、炉周辺で爆発音があったもの。その後、爆発は自然鎮火し、炉内等に残存するCOGについて監視体制のもと自然燃焼を継続させるとともに、ガス分析等により爆発危険性について注意深く監視してきたところ、8月5日14時50分に鎮火の判断を行った。  
なお、ベルトコンベアの落下及び引火経過については調査中。
- 6 人的被害の状況 なし
- 7 対応状況
  - (1) 出場機関(最大時) 公設消防29台(124名)  
自衛防災組織及び共同防災組織6台(33名)
  - (2) ベルトコンベアの消火活動を実施(7月29日06時55分頃)
  - (3) ベルトコンベア鎮火後は、公設消防、自衛防災組織及び共同防災組織による炉の監視活動を8月5日まで継続実施。この間に市民広報も実施。
  - (4) 鎮火(5日14時50分)
- 8 消防庁の対応
  - 29日 13時00分 消防庁特殊災害室から職員1名を現地派遣
  - 14時00分 消防研究センターから職員3名を現地派遣